

■松山市の社会動態の状況について

出典：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省統計局）

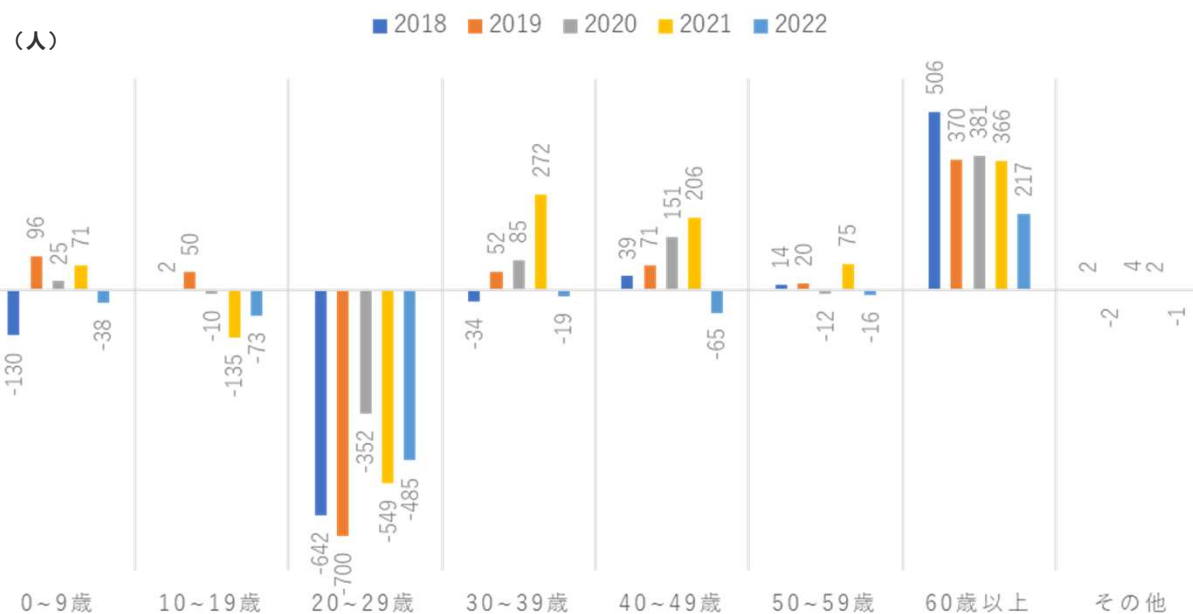
転入超過数

○全体でみると**20歳台は転入超過数がマイナス**となっており、2020年以降は10歳台でもマイナス傾向が続いている。

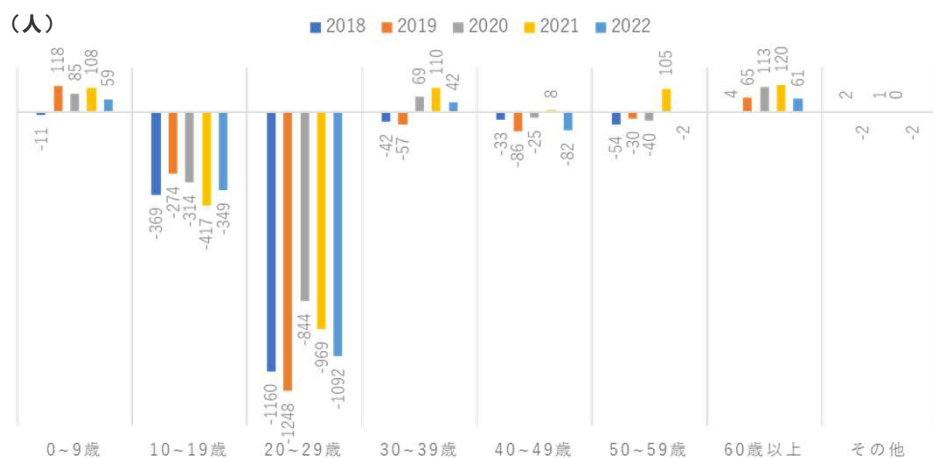
○県外転入者の状況をみると、10歳台、20歳台、40歳台、50歳台でマイナスとなっている。

○県内転入者の状況をみると、10歳台、20歳台、60歳以上で転入超過となっており、30歳台、50歳では、転入超過がマイナスに転じている。

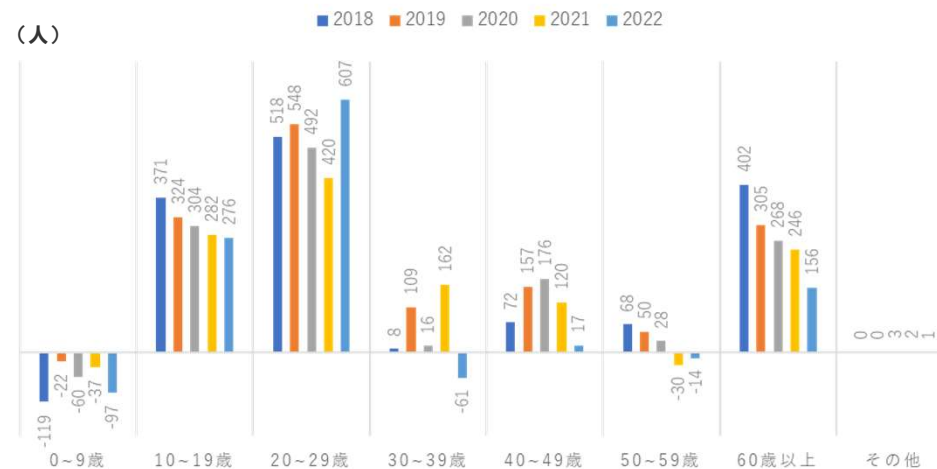
転入超過数(年齢10歳階級)



【県外】転入超過数(年齢10歳階級)



【県内】転入超過数(年齢10歳階級)



第2期松山市環境モデル都市行動計画（令和5年4月）

計画の概要

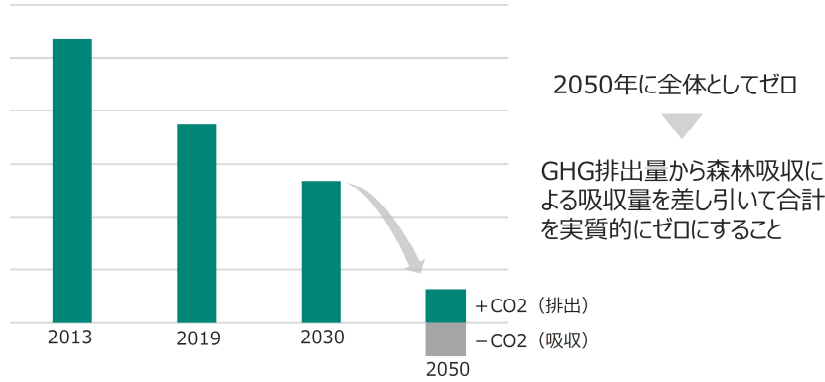
- ▶ 本市では、国が2050年カーボンニュートラル※1宣言、2030年度温室効果ガス46%削減目標等の実現に向け、地球温暖化対策計画を改定したことから、松山市環境モデル都市行動計画（区域施策編）を前倒しで改定しました。
- ▶ 改定に当たり、前計画の成果を踏まえるとともに、温室効果ガス削減や脱炭素を目的とした“緩和策”と、気候変動の影響による被害を防止・軽減する“適応策”に同時に取り組むことで脱炭素社会の実現を目指します。

＜基本理念＞ ゼロカーボンシティ 松山 ～GX※2とライフスタイルの変革で持続可能なまちへ～
基本理念に基づき、地球温暖化と持続可能な社会の実現に向け、市域一丸となって脱炭素化に取り組みます。

“緩和策”
再生可能エネルギー等の導入や脱炭素ライフスタイルへの転換策など、各部門（産業・家庭・業務・運輸・その他）ごとの対策に取り組み、温室効果ガス削減が期待される施策を積極的に実施します。

“適応策”
豪雨や台風をはじめとした自然災害、気温上昇による健康被害等の気候変動による様々な影響や課題に対し、地域特性に応じた適応策を講じることで、被害を最小限にとどめます。

- 長期目標 2050年**
✓ カーボンニュートラルの実現（森林吸収分を含む。）
- 中期目標 2030年度**
✓ 市域のGHG※3排出量削減 ▲50%（2013年度比）
✓ 再生可能エネルギー発電容量 430,320kW以上（2019年度比で2倍以上）



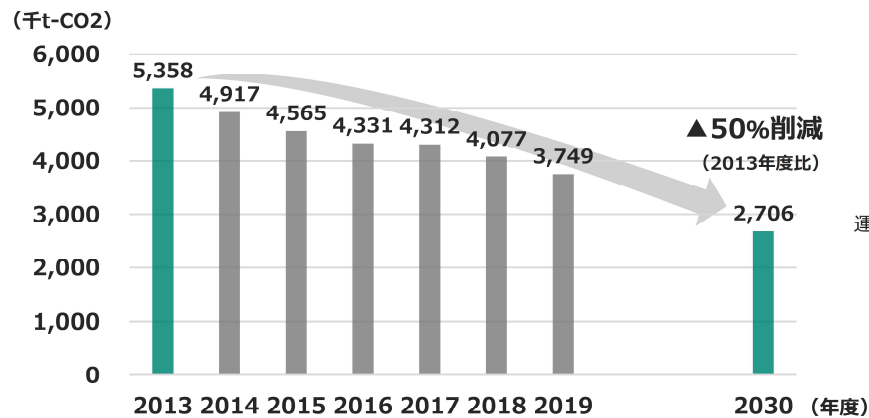
■松山市の脱炭素の取り組み

第2期松山市環境モデル都市行動計画（令和5年4月）

現状と今後の気候変動対策（緩和策・適応策）

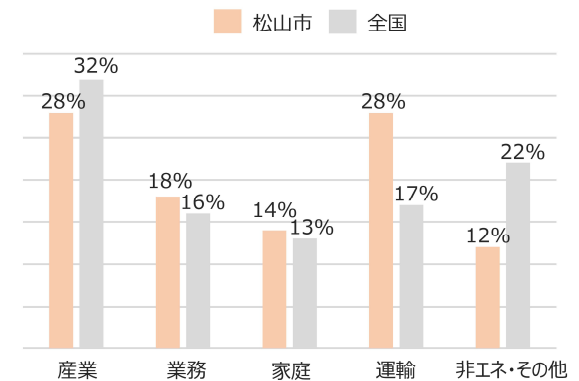
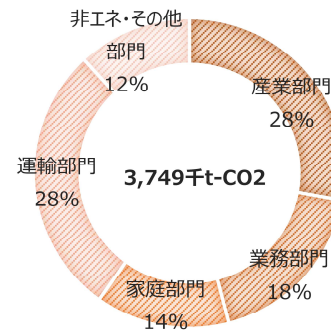
■ 市域でのGHG排出量の現状

2019年度（最新値）のGHG排出量は約3,749千t-CO₂
 なお、2019年度時点で30%の削減を達成している。



■ 部門別の割合と全国との比較（2019年度）

全国と比較すると、自動車等の保有台数が多いことにより、運輸部門からの排出割合が高い傾向である。



【目標達成に向けた6つの施策】

施策1 再生可能エネルギー等の導入

【取組】 自家消費型太陽光発電システム等の導入、PPA※5モデルの活用、グリーン電力証書の販売など

削減見込：▲325千t-CO₂

施策2 脱炭素型ライフスタイルの推進

【取組】 ライフスタイルの転換を促す普及啓発、ゼロカーボンアクション30の推進、ナッジ※6を活用した行動変容など

削減見込：▲21千t-CO₂

施策3 脱炭素型のまちづくりの推進

【取組】 建築物の省エネ化、脱炭素モビリティの導入、スマート農林水産業の推進、歩いて暮らせる都市空間の形成など

削減見込：▲132千t-CO₂

施策4 循環経済への移行

【取組】 ごみ抑制とリサイクルの推進、食品ロス削減の取組、廃棄物処理施設での取組など

削減見込：▲20千t-CO₂

施策5 市民・事業者・行政の協働

【取組】 自治体との連携や情報共有、ステークホルダーとの連携、環境教育の推進、脱炭素経営の推進など

削減見込：-

施策6 気候変動への適応

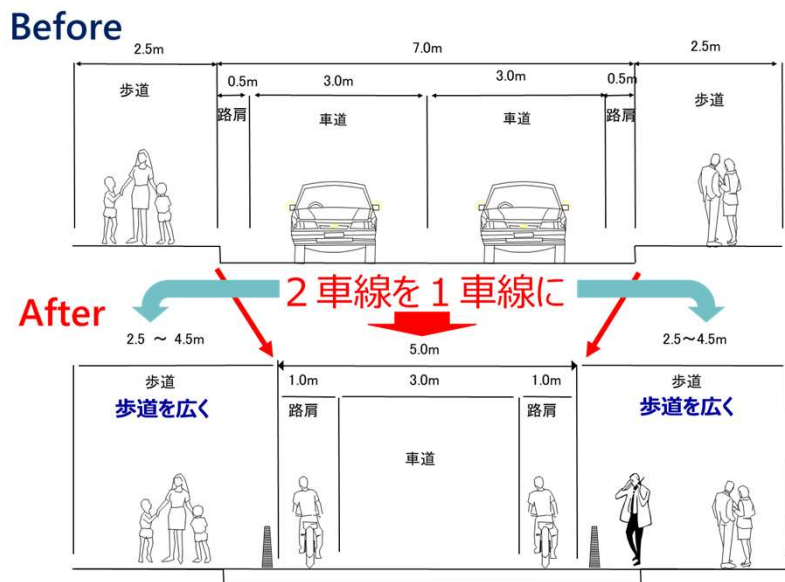
【取組】 農林水産業、水環境・水資源、自然生態系、自然災害、健康、産業・経済活動、国民生活・都市生活の7分野ごとの適応策の実施

削減見込：-

■事例紹介（ロープウェー街）

参考資料

【整備内容】



Before

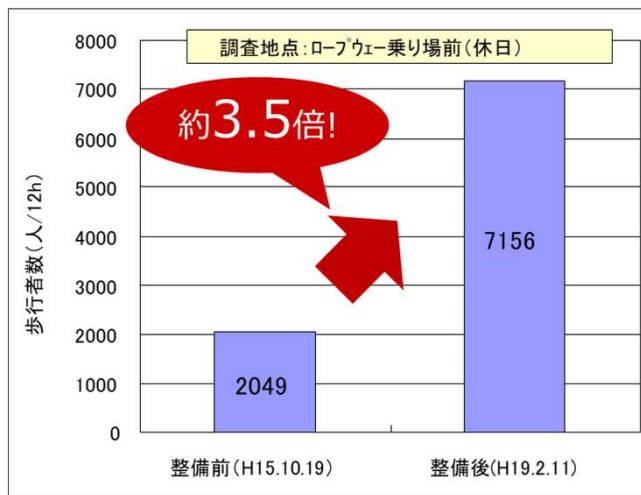


After



【整備効果（データ分析）】

歩行者数の変化



地価の変化



■事例紹介（花園町通り）

参考資料

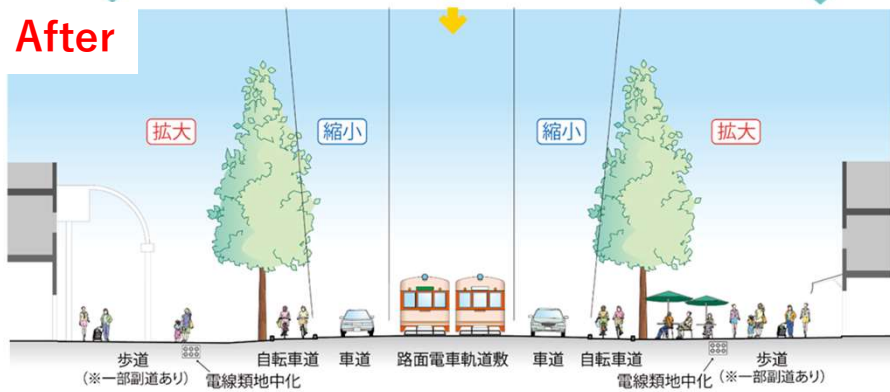
【整備内容】

Before



歩道を広く 4車線を2車線に 歩道を広く

After



Before



After



照明灯・フットライトの設置



路上駐輪場の設置

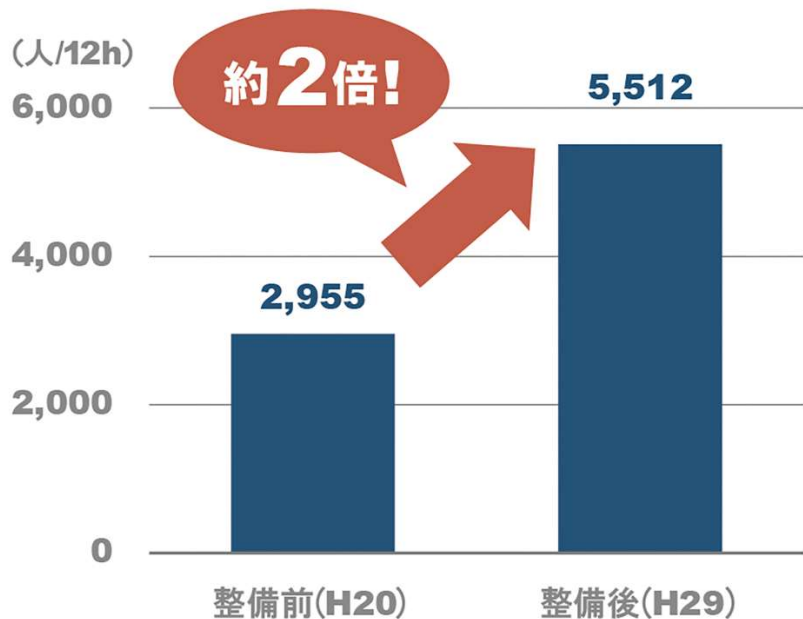


電停のバリアフリー化

■事例紹介（花園町通り）

【整備効果（データ分析）】

歩行者数の変化

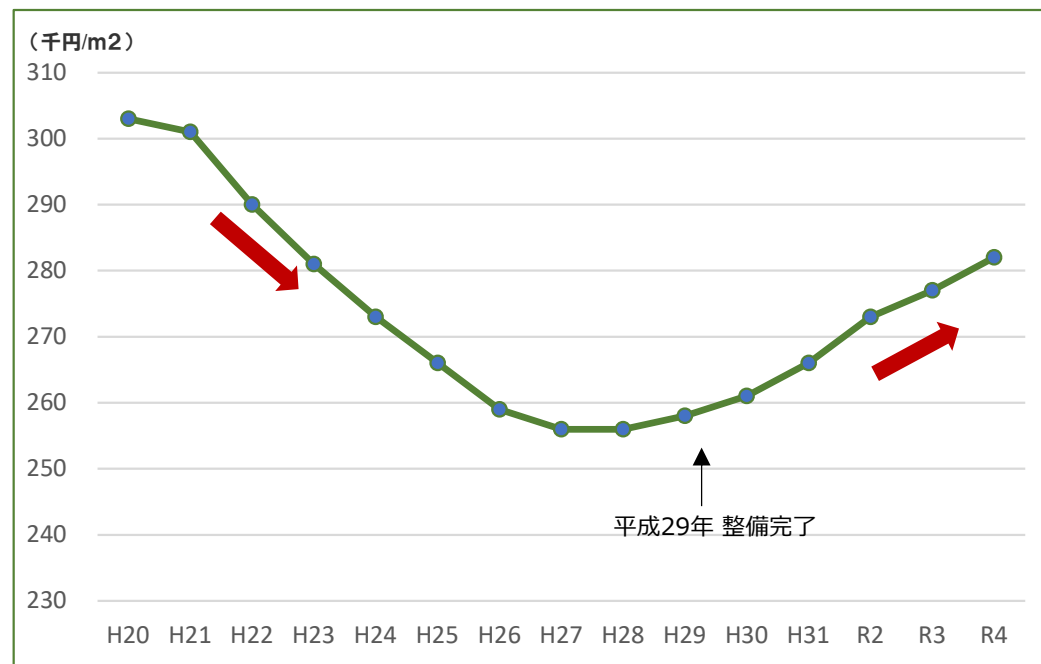


【歩行者通行量の推移】

松山市交通量調査（平日調査）

地価の変化(花園町4番7外)

※UDCMの北側付近



地価公示価格



賑わいの創出

広がった歩道では、毎月第3日曜日に、地元商店街が主催でマルシェイベントが開催され、家族連れなどたくさんの人で賑わっています。

「全国街路事業コンクール」で最高位の国土交通大臣賞を受賞

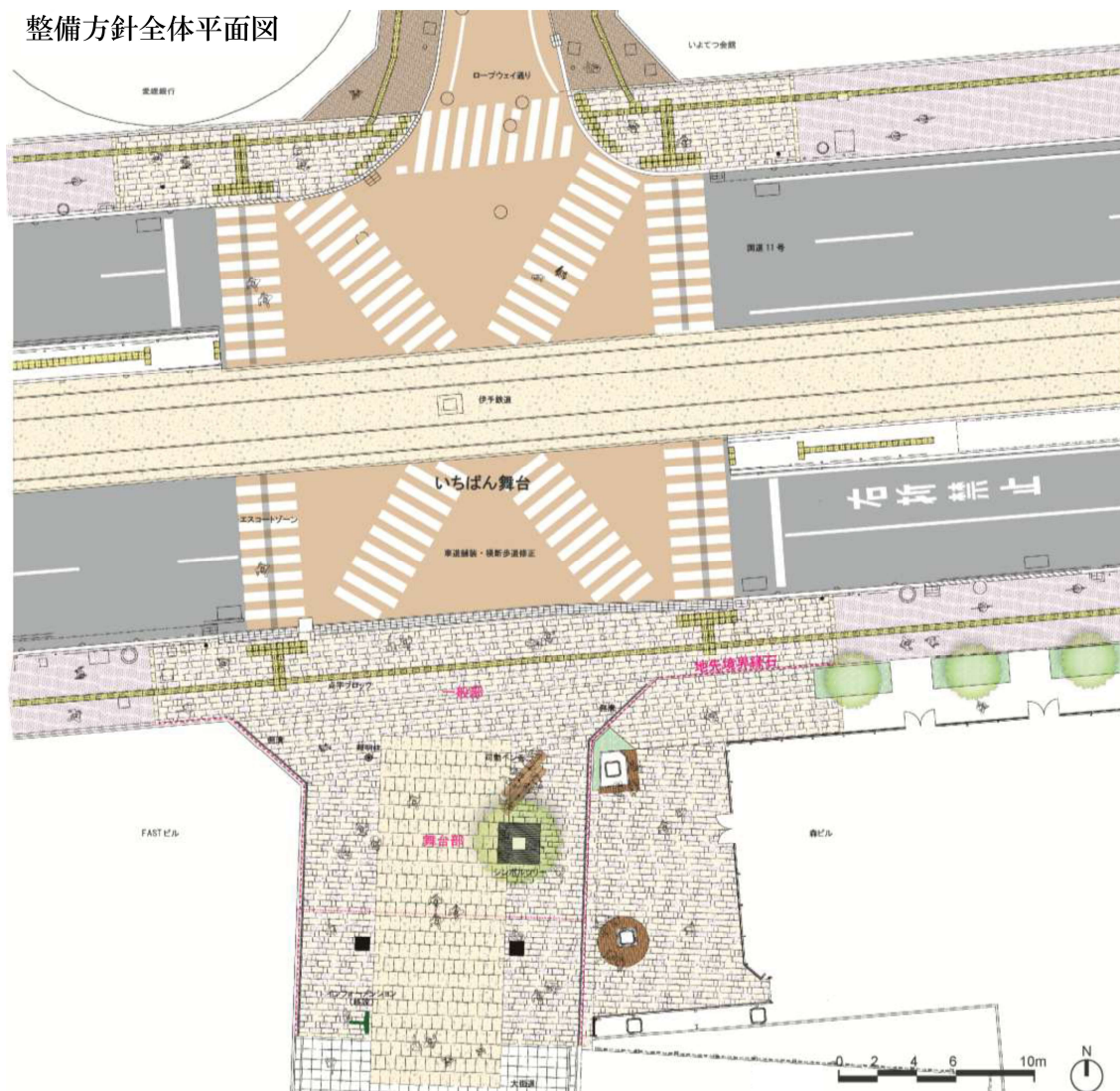


■事例紹介（一番町大街道口 景観整備）

【整備内容】

『一番町大街道口「いちばん舞台」松山の人・文化・歴史が主役となるパブリック空間「舞台」』というコンセプトの下、官民連携で車道舗装、歩道舗装、照明柱、シンボルツリー、ベンチの整備を行った。

整備方針全体平面図



15



Before



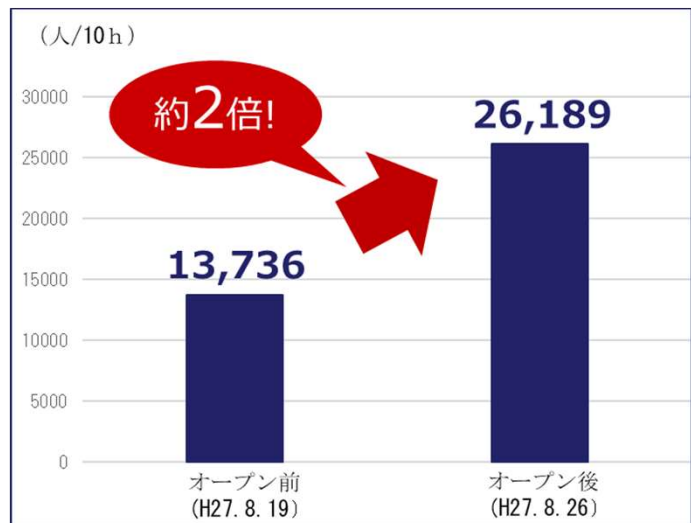
After



■事例紹介（一番町大街道口 景観整備）

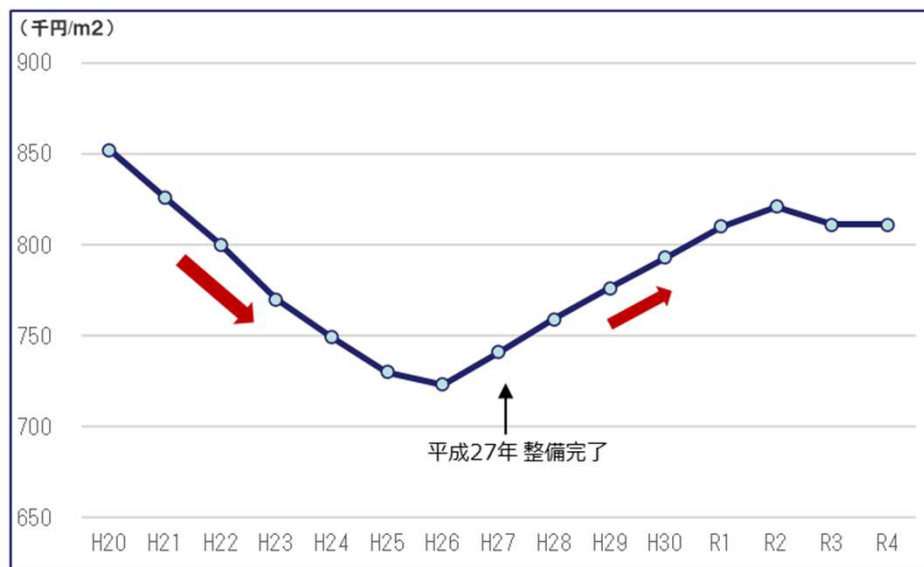
【整備効果（データ分析）】

歩行者数の変化



大街道北側（平日調査）

地価の変化(大街道二丁目4-13)



地価公示価格

●中心市街区域内の地価の推移（千円/m²）

調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H25
二番町三丁目7-17	276	276	282	288	295	302	309	1.12
大街道二丁目4-13	730	723	741	759	776	793	810	1.11
一番町一丁目11-7	326	321	321	325	327	330	334	1.02
二番町一丁目9-28	268	257	252	250	250	266	270	1.01
大手町一丁目8-16	194	191	190	189	189	192	196	1.01
一番町四丁目1-1	377	372	370	368	368	372	376	1.00
三番町四丁目11-12	355	351	350	350	350	351	355	1.00
勝山町一丁目10-2	236	234	233	233	233	234	235	1.00
三番町三丁目4-25	220	214	213	213	213	215	217	0.99
南堀端町6-11	313	308	305	304	304	305	307	0.98
湊町四丁目3-2	206	202	201	200	200	200	200	0.97
道後一万160	132	130	129	128	127	127	127	0.96
三番町七丁目4-7	185	182	179	176	175	175	176	0.95
湊町三丁目5-14	500	490	473	457	442	432	432	0.86
平均値	308	304	303	303	304	307	310	1.01

■ 地価上昇地点
■ 地価下降地点



●中心市街地活性化区域内の地価 位置図

出典：松山市中心市街地活性化基本計画